

大增税による大負担増、私の場合は 党のHPでシミュレーションしてみました

8月22日付の『しんぶん赤旗』日刊紙に、「共産党HPの負担増シミュレーション」アクセス2万4千件に開設1ヶ月」という記事が載りました。この「シミュレーション」がHPに載ったばかりの頃に、私も一度アクセスし試算して、あまりの負担の大きさにビツクリしたものでした。今回あらためて試算し直してみても(左図参照)、怒りがフツフツと湧き上がってきました。

試算は簡単です

試算は簡単です。日本共産党のHP (<http://www.jcp.or.jp>)にアクセスすると、「負担増シミュレーション」というボタンがありますので、これを押します。「あなたの負担は」という入力画面には、「正社員」、「アルバイト」、「高齢者」の枠があります。

私の場合は、「正社員」で、昨年(2005年)の議員報酬と妻のパート収入を入力してみました。試算の条件は次の通りです。

日本共産党
Japanese Communist Party

負担増シミュレーション

●正社員

負担増は 124,000円
(定率減税の全廃、年金保険料の引上げなど)

サラリーマン増税になったらさらに **522,000円**

消費税額が10%になったらさらに **188,000円**

合計 834,000円

あなたの入力値

年収 712万円 年齢 60歳
配偶者 いる 配偶者年収 94万円
子ども 1人

※値は参考値です

この負担増シミュレーションは仮定条件を用いて計算をしています。実際の個人個人の負担増とは誤差がありますので、参考値としてご覧ください。

2008年までに実施がすでに決まっているものを試算しています。「負担増」は2005年と2008年の比較です。

「サラリーマン増税」として、給与所得控除を半減(最低額は65万円)、配偶者控除、扶養控除、特定扶養控除を廃止を仮定しています。

増税64万6千円

私(我が家)の場合、定率減税の全廃と年金保険料の引き上げなどで、12万4千円もの増税です。その上、サラリーマン増税になったら、52万2千円、合わせて64万6千円もの**超大増税**です。この試算では母の老年者控除が入っていませんから、その分も増税になります。

限界を超えての負担

我が家では、05年は、所得税が23万円ほど、国民年金保険料が38万円、国民健康保険税+介護保険料が57万円、それに議員年金掛け金が79万円で、合計197万円の負担でしたが、08年度は210万円の負担になり、サラリーマン増税が実施されると262万円もの負担になります。

百年安心と推進した公明党

これが、自民党・公明党が実施した住民税大增税の実態です。「庶民に大增税、大企業に減税」という逆立ちした税制の転換を!

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

市政レポート

2006年9月3日 115
発行 杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832